

■消費収支計算書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

消費収入の部

(単位:千円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B) - (A)
学生生徒等納付金	3,079,640	3,093,686	14,046
手数料	46,460	46,765	305
寄付金	17,450	18,332	882
補助金	1,101,530	1,240,634	139,104
国庫補助金	486,000	614,857	128,857
地方公共団体補助金	615,410	625,657	10,247
その他の補助金	120	120	0
資産運用収入	7,870	5,536	△ 2,334
事業収入	8,000	6,068	△ 1,932
雑収入	135,076	146,394	11,318
帰属収入合計	4,396,026	4,557,415	161,389
基本金組入額合計	△ 469,799	△ 387,545	82,254
消費収入の部合計	3,926,227	4,169,870	243,643

ほぼ予算通りの収入となり、昨年度比4,400万円増の、30億9,400万円となりました。これは帰属収入の67.9%(同規模法人平均53.6%)にあたります。

昨年度比2億2,500万円増の12億4,100万円となり、これは帰属収入の27.2%(同規模法人平均12.4%)にあたります。

帰属収入合計は昨年度比2億1,900万円増の45億5,700万円となりました。

(注)帰属収入

学園が提供した教育・研究の対価として受け取る収入で、負債としない収入です。学園の設置する学校等に必要消費支出の財源となります。

年間収入たる帰属収入から、教育環境を維持するための施設・設備等の取得などの目的で予め「自己資本」として組入れます。今年度の組入れ額は3億8,800万円で帰属収入の8.5%(同8.4%)にあたります。

今年度は昨年度比3,400万円減の27億9,000万円となりました。これは帰属収入の61.2%(同規模法人平均50.7%)で昨年度比△3.9ポイントになります。

消費支出の部

(単位:千円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B) - (A)
人件費	2,811,728	2,790,148	△ 21,580
一般人件費	2,690,172	2,666,536	△ 23,636
退職給与引当金繰入額	121,556	123,612	2,056
教育研究経費	1,430,178	1,348,769	△ 81,409
一般経費	849,678	832,547	△ 17,131
減価償却額	580,500	516,222	△ 64,278
管理経費	346,047	345,264	△ 783
一般経費	312,717	313,561	844
減価償却額	33,330	31,703	△ 1,627
借入金等利息	8,000	7,518	△ 482
資産処分差額	100	17	△ 83
〔予備費〕	14,900	0	△ 14,900
消費支出の部合計	4,610,953	4,491,716	△ 119,237

昨年度比7,200万円増の13億4,900万円で帰属収入の29.6%(同規模法人平均34.4%)です。

今年度の帰属収支差額は、6,600万円の**収入超過**、同比率は1.4%(同規模法人平均4.6%)となりました。これは、第7次財政中期計画を1億300万円、同比率で2.2ポイント下回ります。

当年度帰属収支差額	△ 214,927	65,699	280,626
当年度消費収支差額	△ 684,726	△ 321,846	-
前年度繰越消費収支差額	△ 10,096,875	△ 10,096,875	-
翌年度繰越消費収支差額	△ 10,781,601	△ 10,418,721	-

(注)1.当年度帰属収支差額=帰属収入合計-消費支出の部合計

2.当年度消費収支差額=消費収入の部合計-消費支出の部合計

消費支出の合計は昨年度比8,900万円増の44億9,200万円となりました。結果、消費収支の差額は3億2,200万円の**支出超過**(赤字)となりましたが、支出抑制の努力もあり、予算と比較して3億6,300万円の**支出超過減額**となりました。